

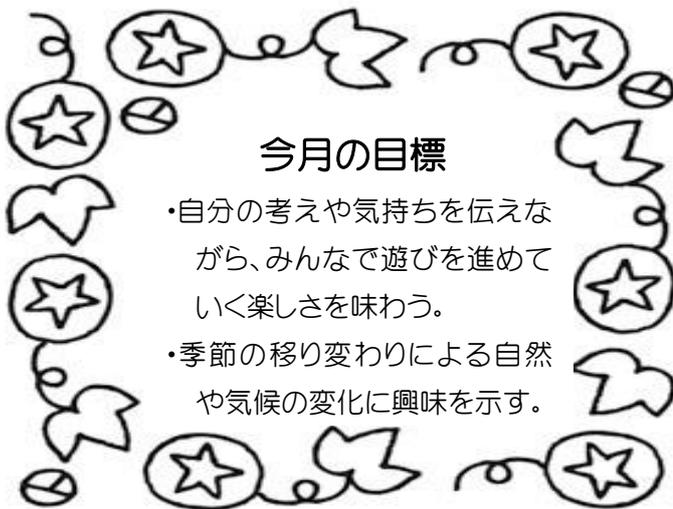
7月 ひまわり組だより

暑さも日々増していき、本格的な夏の季節もすぐそこまで来ているようです。

5月末に植えたトマトときゅうりの苗がぐんぐん生長してきました。これもひまわり組みんなのお世話の賜物です。「お花が咲いているよ!」「緑色のトマトが出来た!」等、毎日水をやりながら観察し大切に育ててきました。「いつ食べられるの?」と収穫を楽しみにしている子どもたち。自分たちで育てた野菜は格別なものになるでしょう♪

また6月は、梅雨の合間を縫って色々な公園に出かけたり町探検をしたりしました。気温も湿度も上がるこの季節ですが、公園では水分補給をしながら思いっきり身体を動かして遊んでいます。町探検では、近隣のお店や会社、施設を見て「ここは何をすることかな」「どんなお仕事をしているかな」と話しながら興味を持って探検しています。往復の道中もバテる事なく、元気に歩き通す事が出来ていて、体力がついてきたのだなと改めて実感します。

今月も、子どもたちの体調管理に十分気を付けながら、この季節ならではの遊びを取り入れて楽しく過ごしていきたいと思えます。



お忙しい中、面談にお越し頂きありがとうございました。面談で相談の多かった、お子様の「自分の意見を相手に伝える」という面において、園で実際行っている方法を紹介したいと思います。

①子どもの言葉を待つ

子どもの頭の中で、「何を話そう」「どう話そう」と考えている間に、「早く言って」「○○って言いたいの?」と大人が急かしたり、子どもが言いたそうなことを代わりに言ってしまったりすると子どもはいつまで経っても自分自身の力で表現できなくなってしまいます。そのため、時間がかかっても子どもの言葉を待つという事を大切にしています。

②みんな違ってみんないい

ひまわり組では、保育者と一緒に話し合ったり、子ども同士で考えて遊びを展開させたりしながら遊んでいます。その中で、みんなと違う意見だった時に言えなくなってしまう子や、みんなと違う意見を言った子に対して「それはやだ」「違うよ」と言う子の姿が見られる時があります。「違う意見があるから色々な発見がある」ということを大事に、まず大人が、自分の意見を押し付けずに子どもの話を受け止めるという事を意識しています。

いずれも大切なのは、子どものペースや、子ども自身の気持ちだと思います。大人はあくまでも促すだけに留め、子どもから言葉が出てくるようになるのを助ける意識を持てるといいですね。継続していくうちに、子ども自身で「言うべきだ」と判断し、言葉で表現できるようになると思います。

困った事や分からない事があった際は、お気軽にご相談ください。子どもの成長を共に支えて見守っていきましょう☆